

思考する

# 都市を 複眼的に

第5回  
都市科学シンポジウム

3. 第2部 Networking Session 開催記録

## 都市科学 / 都市科学部を に ビジュアライズする

Networking  
Session

〈SpatialChatのアーカイブ〉

シンポジウム当日に使用したSpatialChatのスペースは、以下QRコードからアクセス可能です。当日の発表用スライドなどを閲覧いただくことができますので、ぜひ、当日の雰囲気をお楽しみいただければと思います。

SpatialChatへのアクセスはこちら



SpatialChatのログイン・操作方法はこちら



### 3.1 当日のタイムテーブル (A・B)

## TimeTable **A**

15:10～15:40

- A-1** 地域課題実習 再エネ経済循環PJ  
まちの取り組みに、自由な発想を！  
さまざまな緑地空間から都市を科学する
- A-2** 優しさの街  
"Creative for Social Good"  
"ソーシャルグッドな人・もの・ことのためのクリエイティブ"  
「関連性の科学」を応用した地域経済の発展可能性の分析
- A-3** 「横浜市におけるエネルギーや地域熱供給」をテーマとしたエコツアーの実施  
地域社会における異文化理解と多文化共生の促進  
横浜駅から考える災害リスク
- A-4** ヨココネクト～YokoConnect～  
地域課題実習 はまみらいプロジェクト  
「myrouteを通じた企業連携とRPG地図の開発について」  
生態系の変動の鍵を握る病原菌ツボカビ  
～氷河・積雪・湖沼・海洋・藻類大量培養系・都市～
- A-5** 都市文化祭  
地域課題実習 はまみらいプロジェクト 「はまの架け橋チームUDCSEA連携」  
衛星画像から地球・都市・環境を可視化する
- A-6** 小さな装置をまちに組み込む  
地層から過去の隕石衝突津波記録を復元する試み  
歩行者専用空間の貫通通路における滞留を促す要因に関する研究  
ー渋谷駅周辺を対象としてー
- A-7** 地域課題実習 アグリッジプロジェクト  
「都市における土木」の考察と現場見学会の継承  
メールアドレスを識別して動作を変えるマルウェアの  
実際のユーザ端末を用いた実現可能性の検証

第5回都市科学シンポジウム

# TimeTable **B**

15:50～16:20

- B-1** 地域課題実習 Yokohama Univer-City  
「YUC×遊び×学び ～学科を越えた繋がりと常盤台キャンパスの可能性～」  
土木現場見学会について  
植物の分布・成長・繁殖・進化 ―環境との関わりから植物の生態を理解する―
- B-2** 左近山での活動について  
土壌汚染地の管理とリスク共生  
ドボクの教育系ツール開発
- B-3** 森林と資源管理について  
大学院生から見た「羽沢横浜国大駅周辺を都市科学する」プロジェクトについて  
都市を対話で考える～私たちは都市に生きているのか？～
- B-4** 「都市における思想と藝術―（人間）の再考と文化的実践―」  
常盤台キャンパスの空間に対するリサーチと実践  
ポリエステル製ダクト利用における体育館の温熱環境改善効果の検証
- B-5** 建築構造の「お医者さん」を目指して  
「南米につながる子どもたちの横浜「共生」プロジェクト」から展開した  
世山団地プロジェクト  
地下街における人流及び空間環境に応じた空調制御に関する研究  
―横浜ポルタを対象として―
- B-6** バイオトイレプロジェクト  
都市の自然を楽しむライフスタイル  
菌とむし
- B-7** SMICS（スミックス）  
パラグアイの伝統工芸品「ニャンドゥティ」のフェアトレード事業  
ヤギによる除草について

第5回都市科学シンポジウム

### 3.2 第2部登壇者情報(2022年2月18日時点)

タイム テーブル	区分	登壇者	
		テーマ	紹介文
A	1	ミト(再エネ経済循環PJ)	
		木くずで地域循環経済をデザイン!~再エネ経済循環PJの活動チラ見せ~	富山県での木質ベレットのブランディングや、利用拡大までの過程を紹介できたらと思います! みなさんとは、ラフに、「地域課題実習って何?」「木質ベレットって何?」「経済循環ってなんの為?」のような話がしたいです!
A	1	中村優真(まちづくりクラブ会員/都市基盤学科2年)	
		まちの取り組みに、自由な発想を!	ワークショップを行うことにより、さまざまなまちについて知り、まちづくりを支えている方々の中から自由な発想を注ぎ込むことにより、都市科学部の学びで培った視点を活かし、さらに考えを深められるという、まちづくりの魅力についてお伝えしていきたいと思います。
A	1	前原果歩、高野優(生態系評価学研究室<佐々木研究室>)	
		さまざまな緑地空間から都市を科学する	都市緑地に関するトピックを取り上げ、それに関連した研究を行っている当研究室4名の学生の研究を紹介します。
A	2	宮内爽太(都市基盤学科学生有志団体「優しさの街」代表)	
		優しさの街と都市科学	優しさの街では、中高生や一般の方に向けて、土木の魅力やその重要性をSNSを通じて発信しています。都市科学シンポジウムでは、私たちの日々の活動や、コロナ禍で始動した2021年度の活動内容等を中心に、「土木と都市科学」の関係性について、発表させていただきます。よろしくお願ひ致します。

A	2	村瀬悠 (ソーシャルクリエイター)	
		Creative for Social Good ソーシャルグッドな人・もの・ ことのためのクリエイティブ	Creative for Social Goodをコンセプトに掲げ、 クリエイティブ制作を通じたソーシャルアクション のサポートをしています。今回のセッションでは、 これまでの活動を都市科学の視点から自分なりに 振り返ってみようと思います。
A	2	繁村周 (都市・地域経済研究室〈造藤研究室〉)	
		「関連性の科学」を応用した 地域経済の発展可能性の分 析	関連性 (Relatedness) という概念と、それに関する 都市や地域研究への応用事例について簡単にお 話します。
A	3	福井章真 (都市科学部1年)	
		文理融合知の獲得とエコツ アーの実践〜二輪で創るは まみらい〜	まず、今年度の地域課題実習における活動実績 についてご紹介いたします。次に、チームの活 動実績を生んだ背景にある、都市科学部で得た 「実践知」についてお話をさせていただきます。最 後に、自身にとって都市科学部とは何か、につ いて持論を展開したいと考えております。皆様のご 意見等もいただけたら幸いです。
A	3	日比野莉良 (都市科学部都市社会共生学科2年/下町編集室OKASHIメンバー/地域課題実習YUC (Yokohama Univer-City) 所属)	
		地域社会における異文化理 解と多文化共生の促進	下町編集室OKASHIの活動紹介/多世代・多国 籍が居住する横浜橋商店街を事例に、地域社会 で異文化理解・多文化共生をどう実現していくか 考えたいです。
A	3	池田拓馬 (都市イノベーション学府建築都市文化専攻修士課程1年都市環境管理計画研究室 (佐土原・ 吉田・稲垣研究室/環境リスク共生学科卒業)) 鈴木提樹 (都市イノベーション学府建築都市文化専攻修士課程1年都市環境管理計画研究室 (佐土原・ 吉田・稲垣研究室/環境リスク共生学科卒業)) 加藤宗一郎 (環境リスク共生学科3年都市防災計画研究室 (稲垣研))	
		横浜駅から考える災害リスク	横浜駅周辺地区における災害リスクを整理し、こ のリスクに対して私たちが実施した活動をご紹介 します。防災・減災、災害リスクというキーワード に興味がある方はぜひお越しください。

A	4	ダイスケ (山口大輔 / 都市科学部都市基盤学科3年)	
		ヨココネクトの活動内容について～ボードゲーム「キミロク」の紹介～	ヨココネクトでは「人と人との深いつながり」を創るために、「キミロク」というすごろく型ボードゲームを開発しています。キミロクは地域活性化やチームビルディングの場面での活用が期待されています。ゲームを通じた地域活性化に興味がある方、キミロクを使ってみたい方とお話できれば嬉しいです！
A	4	白岩元彦 (はまみらいプロジェクトRPG地図班代表)	
		地域課題実習はまみらいプロジェクト～MaaSアプリ「my route」の普及に向けた企業連携と「RPG地図」の開発について～	トヨタグループのMaaSアプリ「my route」を横浜地域で若い世代に普及する方法の提案と、我々が独自に開発している横国の地図「RPG地図」についてお話しさせていただきます。どちらの活動も学生が主体となって行っていて、実社会に実装させる可能性もあるため、とてもやりがいのある活動です。今回はその内容について紹介させていただき、皆さんとこれらの活動を通じて都市をより良くするためのアイデアについてお話しができればと考えています。
A	4	中西博亮 (水域生態学研究室)	
		生態系の変動の鍵を握る病原菌ツボカビ～氷河・積雪・湖沼・海洋・藻類大量培養系・都市～	生態系に多大な影響を与えている病原菌ツボカビに関して、各水域生態系での具体的な影響を同研究室での研究結果に基づき紹介します。
A	5	池田 (都市文化祭2022総務部長)	
		都市文化祭2022について	都市文化祭開催の趣旨や過去の活動、2022年度の活動についての紹介をします。
A	5	地域課題実習はまみらいプロジェクト はまの架け橋チームUDCSEA連携	
		UDCSEA連携チーム今年度のあゆみ	はまの架け橋チーム、UDCSEA連携チームとして1年間行った活動の紹介をします。

A	5	板垣春香、才畑真子、関戸一樹 (石川研究室/環境情報学府自然環境専攻1年、都市科学部2020年度卒業)	
		衛星画像から地球・都市・環境を可視化する	衛星画像とは、人工衛星に搭載されたセンサーが取得したデータを画像化したものです。この衛星画像によって、地表の様子、地表の変化、地表面温度など地表に関する様々なことを明らかにすることができます。私たちの発表では、衛星画像を用いて研究していることを、地球・都市・環境の観点から紹介します。宇宙の人工衛星から紐解く地球の姿に興味がある方、気軽にお話ししましょう。
A	6	平原裕大 (ハマの屋台プロジェクト)	
		小さな装置をまちに組み込む	「屋台」という小さな装置をまちなかで展開していくことの楽しさ・意味等を、今年度の活動を基に話します。
A	6	佐藤雅岳 (山本研究室3年)	
		地表から過去の隕石衝突津波記録を復元する試み	約251万年前に地球に落ちたとされる隕石を隕石衝突津波記録から証拠を掘り出す研究について発表します
A	6	木下凌太郎 (都市計画研究室)	
		駅前商業施設の歩行者専用空間における滞留を促す要因に関する研究-渋谷駅周辺を対象にして	再開発によって誕生した駅前商業施設は街への回遊性を高めた駅まち一体開発となっており、歩行者の歩きやすい空間が形成されています。駅周辺の貫通通路は移動を中心に設けられた空間である一方、利用者の滞留を創出する要因が貫通通路にもあるのではないかと考え、渋谷駅周辺に新たに誕生した商業施設の貫通通路4つについて空間要素と利用者のアクティビティ調査を行い要因を明らかにしました。普段何気なく歩いている貫通通路で発生する滞留行動の変化や違いについて話したいと思っています。
A	7	清水翼 (Agridge Project<アグリッジプロジェクト> 学生代表、経済学部経済学科)	
		農業を通じた地域活性化とは? アグリッジプロジェクトの活動について	アグリッジの掲げる農業を通じた地域活性化について今年度の活動を通じてご紹介できればと思っています。他分野に渡って農業を軸に活動を進めているので農業に興味のある方ない方、皆様とお話しできればと思っています。

A	7	平野貴大(たかてい/都市基盤学科4年)	
		「都市における土木」の考察と現場見学会の継承	都市のなかで緑の下の力持ちで活躍する土木。そんな土木を扱う都市基盤学科では、現場見学会を盛んに展開し実際の建設現場を見て土木がいかに使われ人々の生活に貢献するかや、インフラ整備の様子を体験しました。しかしコロナ禍においては実地での学びができなくなり、そこで考案したのが「オンライン見学会」であります。今回は、都市の中土木がどう使われているかを共有したのち「オンライン見学会」についてご報告いたします。
A	7	市川大悟(環境リスク共生学科情報セキュリティとリスクマネジメント研究室)	
		メールアドレスを識別して動作を変えるマルウェアの実際のユーザ端末を用いた実現可能性の検証	近年、標的の端末でのみ不正な活動を行い、他の環境では無害を装うマルウェアが問題となっている。本研究では、先行研究で提案されている攻撃シナリオの検証のため、実際のユーザ端末に保存されているメールアドレスから端末を識別できるかどうか検証した。検証のために、研究室内の学生・スタッフとクラウドワーカーを対象にした二つの実験を行い、先行研究で提案されている攻撃シナリオについて考察した。



B	1	長洋平 (地域課題実習 Yokohama Univer-City 代表)	
		YUC×遊び×学び～学科を越えた繋がりや常盤台キャンパスの可能性について～	都市科学部での先輩や友人との出会い、そして常盤台キャンパスや104裏を通じて生まれたYUCについて、発足の経緯や活動の理念について紹介します。また、都市科学部に関する可能性と課題を、YUCで学んだ遊びの大切さと実践的学びの知見からの分析も行い、参加者の皆様との議論もできたらと考えております。
B	1	三留啓奨 (都市イノベーション学府国際基礎学コース (土木工学科) コンクリート工学研究室)	
		土木現場見学会について	コロナ前まで開催していた土木見学会について、簡単に話したいと思います。
B	1	松本三千尋、武藤実緒、真鍋昂生、宮岡伶安	
		植物の分布・成長・繁殖・進化—環境との関わりから植物の生態を理解する—	まず、酒井研究室の活動概要について紹介し、その後発表者4人の研究内容について紹介する予定です。様々な観点から植物の生態に迫った研究成果をわかりやすく紹介できればと思っています。また、都市科学部の1年生の方が多く参加されるようなので、将来的に取り組む研究活動に対する興味やイメージを持っていただけたら幸いです。
B	2	河野奏太 (サコロボ / 都市科学部建築学科3年)	
		左近山で学生が住みながらまちづくり、ものづくり	横浜市旭区にある左近山団地でまちづくりをおこなっているサコロボについて紹介します。私たちは左近山団地に住みながら活動しています。新たな入居者も募集中です。
B	2	島朋輝、深谷亮太、李京 (環境安全科学研究室)	
		土壌汚染地管理とリスク共生	土壌汚染問題を軸として、「リスク共生」の考え方を分かりやすく紹介します。

B	2	<p>水谷昂太郎 (Dobo×Pro代表／東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科3年)</p> <p>魅せるドボク教材をつくろう!</p>	<p>Dobo×Proとは全国の土木学生が一般の方々にとって面白いや土木学生にとって学んでいる授業内容がより実感できるような教育コンテンツの開発を行い、どういものが学生たちにとって面白いと思えるのか、あるいは一般の方々が興味を持ってもらえるのかを研究している団体です。今回は弊団体が制作したドボク教材を紹介しながら、それぞれなぜこのような教材を作ろうと思ったのか、そしてその活動を通じて感じた、今後都市に求められるものは何かということについてを発表していきます。</p>
B	3	<p>竹内理絵、井上里彩 (森章研究室)</p> <p>・生物多様性はなぜ重要か ・持続可能な森林管理とは</p>	<p>森林生態系において、生物多様性が重要とされているメカニズムについて簡単に説明し、研究室で取り組んでいる研究についてご紹介します。また、森林再生に向けた取り組みとして、人間が植林した場所と自然の力に任せて回復した場所を比較し、森林管理の在り方について考えます。参加された皆様にアンケートへのご協力をお願いしたいと考えています。</p>
B	3	<p>樋口倫行、大木結衣 (建築史・建築芸術研究室)</p> <p>大学院生から見た「羽沢横浜国大駅周辺を都市科学する」プロジェクトについて</p>	<p>現在都市科学部では、羽沢横浜国大駅・大学キャンパス周辺での地域貢献の在り方を検討しており、また、都市イノベーション研究院との連携や文理融合の実質化も目指しています。このようなことを背景に、都市科学部は「羽沢横浜国大駅周辺を都市科学する」というプロジェクトに取り組んでいます。この度のシンポジウムでは、このプロジェクトの成果である「大型模型製作」と、都市科学部建築学科3年生がAT演習で取り組んだ「地域連携活動の発展的提案」についてご紹介します。</p>

B	3	木村心香 (都市科学部都市社会学科卒業生 (2021年卒))	
		都市を対話で考える～私たちは都市に生きているのか?～	卒業してから、「都市」を考える機会がめっきり減ってしまいました。そんな中、シンポジウムの案内をいただいて、ふと浮かんだ疑問は、「私にとって都市はなにか?」でした。都市科学部に問いを持つ私たちですが、そもそも私たちにとって都市は何者なのでしょう。住む場所? 集まる場所? 憧れの場所? …私たちにとっての「都市」の存在を探るために、まずは一つ問いを立ててみました。「私たちは都市に生きているのか?」—コロナ禍でバラバラに過ごす私たちにとって、都市はどこにあるのか。そんな取っ掛かりをもとに、互いの声を聞き合う「対話」の場で、私たちにとっての「都市」を考えていきましょう。
B	4	永友悠稀 (長友優輝 / PROJECT ART × ENT 代表、樽沼研究室所属)	
		都市における思想的探究と文化的実践——〈人間〉の新生に向けた試みを事例に——	都市科学部で哲学をしながら映画を撮る——「〈人間〉とは何か」、「これからの時代に〈人間〉をどうとらえていけばいいのか」、そうした思想的探究をしながら卒業制作として文化的実践を試みた日々について、その研究結果とともにいろいろと語ります。折角の機会ですので、ぜひご来場した皆さまとお話ししながら進めていければと考えております。当日お会いできるのを楽しみにしています。
B	4	ウラニワプロジェクト (Y-GSA 〈インディペンデントスタジオ〉)	
		常盤台キャンパスの空間に対するリサーチと実践	常盤台キャンパスにおける空間リサーチをもとに、本部棟裏に居場所を作るプロジェクトについて発表します。
B	4	安部匠 (都市科学部建築学科建築環境工学研究室)	
		ポリエステル製ダクト利用における体育館の温熱環境改善効果の検証	卒業論文の内容を説明しようと思っています。内容としては、研究背景や研究目的、研究の流れ(方法)、研究結果を考えています。

B	5	白戸公大(銅構造研究室)	
		建築構造の『お医者さん』を目指して	私の研究テーマは、「地震後の損傷した(大ケガした)建物に対して、補修や部材の交換などの適切な治療をするために、どのような判断基準を定めたら良いか」というものです。研究では、建築学棟の隣の構造実験棟で構造実験も行っていますので、そちらについてもお話したいと思います。ぜひ気軽に聞きに来てください!
B	5	笹山団地プロジェクト(都市科学部都市社会共生学科1年)	
		笹山団地における、高齢者及び外国にルーツを持つ住民の方々への生活サポート	現在当PJが取り組んでいる、県営団地における高齢者と外国にルーツを持つ住民の方へのサポート活動や、今後の展望に関して、お話ししたいと思います。
B	5	古田倫太郎(都市環境管理計画研究室)	
		地下街における人流および空間環境に応じた空調制御に関する研究	カーボンニュートラルに向けた試みとして、人の疎密や温度・湿度に応じて横浜ポルタでの空調運転の調整をするというプロジェクトがあります。将来的にAIによる制御を行うにあたり、「横浜ポルタでの人の疎密の傾向」を調査・分析し、また独自で「上記に応じた新たな空調機の温度設定の考案とそれによる省エネ効果の検討」を行いました。
B	6	江藤克(他1名)	
		バイオトイレで循環型社会へ試行する	南米のパラグアイ、国内に建設する計画をしているバイオトイレを紹介し、構想している社会を説明する。
B	6	都市の自然を楽しむライフスタイル	
		都市の自然を楽しむライフスタイル	当プロジェクトは、都市の自然を知り、それを利用するライフスタイルを開発して、社会への普及を図ります。今回はプロジェクトの背景や活動内容について紹介します。

B	6	都市科学部環境リスク共生学科 大学院環境情報学府土壌生物学研究室	
		菌とむし	土には、きのこや変形菌やむしなどいろんな生物がいますが、何がどうつながっているのかよくわかっていません。土に住む菌とむしを観察して、見つけた新種、わかった関係性や、研究の過程を紹介します。都市とは無関係に見えますが、土は都市に住む人々の生活とも深く関係しています。
B	7	三島優一（認定NPO法人ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金学生部ニヤンドゥティフェアトレード事業 SMICS）	
		～日本にいながら世界と繋がる～ 南米バラグアイの伝統工芸品「ニヤンドゥティ」のフェアトレード事業 SMICS のご紹介	コロナ禍で海外に行くことができない…。そんなモヤモヤを抱えながら大学生活を過ごしていませんか？ 今回は、「日本にいながらも世界と繋がることできる」、そんな事例をみなさまにご紹介したいと思います。南米バラグアイの伝統工芸品「ニヤンドゥティ」のフェアトレード事業の取り組みを通して、私たちは全く異なるバックグラウンドをもっている人々と協力すること・日本に海外文化の魅力を広めると同時に、伝統や工芸品の作り手を支えるということについて、みなさまに知っていただきたいです。
B	7	ヤギ部（環境リスク共生学科）	
		ヤギによる除草について	学内にある里山の生物多様性を維持するために、現在二匹のヤギを放牧して常緑樹を効率的に除去する実験を行っています。ヤギの世話は学生有志が分担して行っています。除草の目的と効果、学生がヤギと関わることによって得られた変化やヤギに関する気付き、都市における自然との触れ合いの中でヤギが果たす役割などについてお話します。